

セッション 2

事業名 在外公館施設

集計結果

・ 現状通り	1 名
・ 事業内容の一部改善	5 名
・ 事業全体の抜本的な改善	0 名
・ 廃止	0 名

取りまとめ結果及びコメント

◆現状通り

◆事業全体の抜本的な改善

◆事業内容の一部改善

◆廃止

- 国有化率をより高めるよう必要な予算を中長期的に検討するべきである。ただし、国有化率を高める方策・工夫が現状では不足している印象であるため、この点は検討すべき。(注)

(注) 但し、国有化率を高めることについては、その積極的な意義を有しないとの意見もあり、委員全体の統一的な意見ではない。

- インフラ長寿命計画・個別施設計画・行動計画が環境の変化にも即して的確に計画が見直しされているか、計画に従って適時適切に行われているかについては、海外における建築や施設維持管理運営に知見を有する外部有識者の点検や意見を得る仕組みを作ってはどうか。

- 予防保全については積極的に推進するべき。ただし、営繕関係予算が

減少している状況では今後は難しいところ、安定した予算の確保が求められる。

- 借上げについても、長期的な視点から営繕計画を立て、適切な管理をしていくべきである。
- 在外公館の工事監理が随意契約により調達されているが、複数社見積もり合わせなど、少しでも競争性を高める工夫が必要である。